

スッキーニの特性と作型 **申し込みは 2/5 までに園芸課 23-3933 へ**

☆特性 カボチャの仲間、ウリ類の中で最も低温性、高温、多湿で病害発生しやすい
吸肥力が旺盛、雌雄異花のため交配は必要、強風で枝が折れやすい。

☆作型

ハウス（無加温）：春作 定植：4月上旬、収穫：5月上旬～7月末

抑制 定植：7月末～8月中旬、収穫：9月上旬～11月中旬

露地（小トンネル）：春作 定植：5月上旬、収穫：6月上旬～8月下旬

露地：春作 定植：5月上中旬、収穫：6月中旬～9月上旬

抑制 定植：7月下旬～8月上旬、収穫：8月下旬～10月下旬



2条作型



露地小トンネル作型



露地作型

☆品種 グリーンボート2号、ブラックボー

☆栽植密度 ハウス：大型（間口6.3mは4～5条）1a当り90本

2条（間口2.4mは2条）1a当り80本

露地：畦幅60cm×株間80cm 1a当り70本

☆目標収入 ハウス（春作）：10a当り3t×単価350円/kg=1,050,000円

露地（春作）：10a当2t×単価300円/kg=600,000円

販売単価平均（1ケース/2kg）：2年665円、元年599円、30年642円、29年604円

【10a当り最高収量（市場出荷のみ）】

【10a当り平均反収、金額（抑制含）】

29年：ハウス春作4.5t、露地（小トンネル）4.0t

29年：2,156kg、651,85円

30年：ハウス春作4.6t、露地（2作）6.6t、抑制2.7t

30年：2,474kg、794,123円

元年：ハウス（2条）春作8.2t、露地（2作）5.2t

元年：2,517kg、754,331円

2年：ハウス（2条）春作6.7t、露地（2作）6.1t

2年：2,366kg、660,511円

☆労力 一人5a位

メリット

- ・はじめての方でも比較的簡単に栽培できます。（JAで育苗可能）
- ・短期間に収益の上がる品目です。
- ・C級まで販売可能です。
- ・露地栽培は支柱等資材費がさほどかかりません。
- ・品質、生産安定には日々の人工授粉が必要になります。
- ・農業振興開発事業（小トンネル被覆）と園芸特別対策事業（防風・排水・ドリフト対策、園地整備）を予定しています。詳しくは担当技術員までお問い合わせください。